

森林環境譲与税活用のご提案

森林・林業を取り巻く 環境の変化

- 我が国の人工林は1,000万haあり、その半分以上が11齢級以上の主伐期を迎えようとしています。
- 森林・林業の持続的発展に向けて、齢級構成をならし、主伐・再造林を推進し、若い森林を増やしていく必要があります。
- 経営管理が行われていない森林は、意欲と能力のある林業経営者に担ってもらう必要があります。

そこで・・・

- 2024（平成36）年度から、森林環境税の徴収が始まります。
- **2019（平成31）年度から、森林環境譲与税^{*}の譲与**が始まります。

自治体に求められる 取り組み

- **譲与税の使途を決め、公表**していくことが求められています。
- **森林所有者や林業経営者の意向調査**が必要です。
- **経営管理権集積計画を策定**し、林業の振興を図る必要があります。

具体的な作業

- 森林所有者の確定（林地台帳、課税台帳等の活用）
- 森林所有者や林業経営者の意向調査（アンケート調査）
- 都道府県が提示する意欲と能力のある林業経営者の選定
- 経営管理権集積計画の策定と経営管理実施権の付与
- 林業維持不適地における複層林化 等

※当初、200億円の基金でスタートし、私有林の人工林面積、林業就業者数、人口、で按分された額が譲与される

弊社の支援メニュー(例)

林政ご担当者様のご負担を軽減致します！ 下記の一部でもご支援致します！

【森林所有者の意向調査】

- 調査票設計支援、封筒類準備、封入封緘作業、宛名ラベル添付、発送回収、回収調査票点検、データ入力、集計、分析、報告書作成、データベース化等、すべての工程でご支援致します。

【林業経営者のヒアリング調査】

- 森林組合、素材生産業者、自伐林家に対し、訪問面接形式で今後の林業経営についてヒアリングを実施します。
- 郵送調査にも対応致します。

【プラン策定支援】

- 総合計画から、防災、介護保険の計画まで、あらゆるプランの策定経験を活かし、森林を出発点としたビジョンの策定を支援致します。
- 整合が必要となる市町村森林整備計画もご支援致します。

【使途の決定に向けた各種会議や庁内調整】

- 森林環境譲与税は、森林が無くても譲与されることから、木材利用の促進、普及啓発など、その使途を決めて公表しなければなりません。
- 庁内会議や関係者会議などで資料作りや進行等、ご支援致します。

森林環境譲与税活用のご提案



SRCが提案する計画に基づく税収の活用

財政面

- 毎年継続して譲与税が入ってくる
- 用途を明らかにする必要がある
- 全住民が納得する使い方が必要（一部を優遇できない）
- 基金を作るにしても目的が必要

森林経営面

- 所有者の特定、境界画定が困難
- 森林の管理を促進することが必要
- 意欲ある経営者が不足
- 林業振興には課題山積（価格、外材、担い手、販路..）

税活用面

- 何をしたらよいかわからない
- 林道整備などは数年で終わってしまつためその先を考えることが必要
- 他都市と連携しようにもノウハウが
- できれば積み立てて何もしたくない

★デザインが必要

SRCの役割 = 『森林を核とした地域のビジョンづくり』

★森林環境税活用計画の策定支援

目的、目標、短中長期のロードマップ、実施計画...そこに...
森林に関わるあらゆる業種の方々の取り組みを提案し、記載することが可能
↓
そのための調査、ヒアリング、グループインタビュー、会議運営等は得意分野

SDG sと
絡めた
先駆的なデ
ザイン

川上と川下
では大きく
デザインが
異なる

ステーク
ホルダー連携

GISでの
台帳整備

担い手
育成

運搬費
補助

経営管理
権の移譲

林間学校

FSC認証
材の活用

新たな
地域連携

持続可能な森林
の活用

林業の振興

地域経営

森林環境教育

価値観や生き方